

民間建築物の木造化・木質化促進に関する技術支援  
-木造化・木質化を進める上での阻害要因を軽減する方策の検討-

木材利用技術センター 構法開発部

## 1 建築物の木造化への取組に対する考え方

令和2年度に県内の建築関係団各会員へ実施したアンケート調査において、90%の方が木造化に取り組んでも良い（うち27%は積極的に取り組んでいる、と回答）と考えていることが分かりました。

一方、本研究を進めるなかで次のような意見も寄せられました。

- ・設計者の立場だと、実際に現場で使用される木材について、産地や乾燥具合、グレードなど、施工者が決定するまで情報がないことが多く、不安がある。
- ・県産材の情報が少なすぎて、設計者が設計段階でコスト管理をしたり、サンプルを取ったりする機会がない。
- ・木材情報が一元化されておらず、知りたい内容の問合せ先がどこか分かりにくい。

そこで、木造化に取り組む際に必要とされる「木材（材料）」についての情報を整理したうえで、情報の一元化を図ります。

## 2 アンケート調査の実施

### (1) アンケート調査の内容

設計者団体及び木材（材料）提供側、双方の必要とする情報、提供できる情報をアンケート調査①、②及び③等により整理を行う。（図1参照）

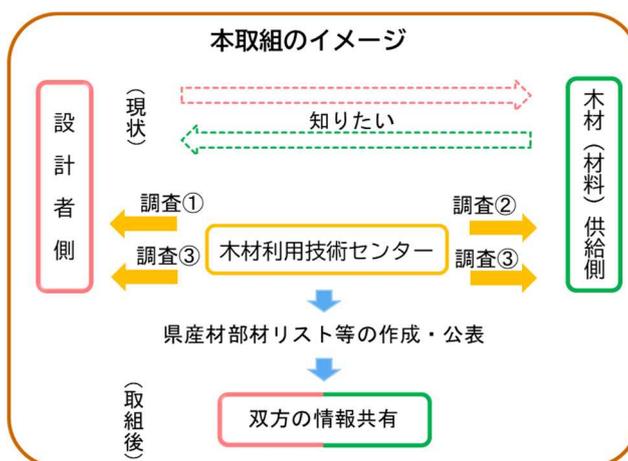


図1 本取組のイメージ

### (2) 設計支援ツールの作成

上記のアンケート調査等を踏まえて、設計者・施工者向けに県産材調達に関する納期等の基本情報を記載した県産部材リスト等を作成し、木材（材料）供給側との情報共有を図る。

#### 県産材部材リスト（案）

分類	樹種	等級	部材名	幅mm	高さmm	長さm	調達期間	目視等級区分	機械等級区分	含水率	その他
製材	ヒノキ	特一	柱	120	120	4.0	○週間以上	○	○	20%以下	
集成材	スギ	同一等級	E65-F225	105~300	300~500	5.0m~12m	△週間以上		○	15%以下	特注

## 3 アンケート調査実施後の計画

- (1) 適切な情報提供や技術的な支援を行うことのできる体制（ネットワーク）を構築。
- (2) 建築主となる事業者向けに、設計者が木材・木造の優位性（強み）を生かした提案を行うためのツール（リーフレット等）を作成。